

環境影響評価法第8条第1項の規定により述べられた意見の概要を記載した書類

方法書について環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要は、下表に示すとおりである。

表 方法書について環境の保全の見地からの意見を有する者の意見の概要

環境の保全の見地からの意見の概要
新たな道路を計画されているが、供用後の温室効果ガスの発生量は、どれくらいを見積もっているのか。
工事中の温室効果ガスの発生量も算出すべきと考える。
福岡市では、地球温暖化対策として、電気自動車等購入補助やレンタサイクルなどを進めているが、この事業は、この時代の流れに反すると考える。
空港周辺地域の温室効果ガスが増え、都市災害となる集中豪雨の発生頻度が増え、トンネルの浸水対策費用が増える可能性についての検討をお願いしたい。
道路面の「騒音対策」「雨水吸水対策」をお願いする。
夜間工事は絶対に実施しないでほしい。生活をしているため、安眠、睡眠妨害をしないでほしい。 工事現場の騒音としては、重機の音、作業員の声、車輛エンジンの音、小工事器(スコップ、クワその他)投落時の音、工事に必要な資材の積み落とし時の音がある。
吉塚4丁目の付近の車道を横断している農水路の上を、バスなどの重量の大きい車輛や、スピードを上げて走行する一般乗用車が通過する際、車輛のバウンドにより、音と振動が発生する。 車道を横断している農水路の上の舗装工事で段差が発生しないような設計をお願いする。
道路周辺の中央分離帯及び周辺歩道上には落葉しない「樹木」、四季咲く「花の木」といった植物を配置してほしい。
現在の空港口交差点より福岡空港まで歩道を設計してほしい。
建物に損傷が発生しないように工事設計をお願いする。